

ESG金融ハイレベル・パネル（第4回）

資料 2 - 4

# ESG地域金融の取組み

～試行錯誤の中から見えてきたもの～

2021年4月16日  
株式会社 栃木銀行  
常務取締役  
下山 孝治



ブランド「スーガン」

**First for You**  
あなたとともに

「お客さまとともに歩み続け」とともに  
「考え、行動し、喜びを分かち合うこと」  
で「お客さまにとって一番の銀行」  
を目指す姿勢をあらわしております。

<b>創 立</b>	1942年12月
<b>本店所在地</b>	栃木県宇都宮市西2丁目1番18号
<b>資 本 金</b>	274億81百万円
<b>店 舗 数</b>	86店舗（店舗内店舗含む） 6ローンプラザ
<b>従 業 員 数</b>	1,588名（出向者除く）
<b>預 金 残 高</b>	2兆9,680億円（譲渡性預金を含む）
<b>貸 出 金 残 高</b>	1兆9,809億円

※2020年12月末現在

- 本日の話は成功事例の紹介ではありません。
- 試行錯誤の中で取組んできた途中経過と現状認識についてご紹介します。

~~成功事例~~

⇒ ~~途中経過~~

## ■ 2019年8月：「栃木銀行SDGs宣言」および「具体的取組」を公表

栃木銀行  
SDGs宣言

栃木銀行は、「豊かな地域社会づくりに貢献する」との経営理念に基づき、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、事業活動を通じて、**地域社会の持続的な発展と課題解決に貢献してまいります。**

取組み  
行動方針

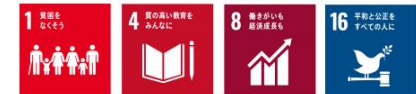
### 1. 地域経済の持続的な成長

事業性評価に基づく融資や地方創生、創業支援、事業承継、販路拡大等お客様のニーズに応じた金融仲介機能を発揮し、地域経済の持続的な発展に向け貢献してまいります。



### 2. 地域社会への貢献

地域の文化活動、スポーツ振興支援、地域福祉の向上や金融経済教育等を通して、地域社会の発展・活性化に向け貢献してまいります。



### 3. 地域の環境保全

環境に配慮した事業活動による環境負荷軽減や地域の環境保護事業への参加、環境課題解決に向け貢献してまいります。



### 4. 多様な人材の活躍

女性や若年層、シニア層など性別、年齢、学歴等にかかわらず、すべての従業員が生き生きと働きがいを持って活躍するための人材育成や労働環境整備、働き方改革、女性活躍推進等積極的に取り組んでまいります。



2019年8月：令和元年度 地域ESG金融促進事業  
2020年7月：令和2年度 地域ESG金融促進事業

⇒ **環境省事業に  
2年連続で採択**

# 3.これまでのSDGs/CSRの取組み

とちぎんボランティアネットワーク



「小さな親切」運動



すぎみらい



栃木県マロニエ緑化基金



「食の展示・商談会」の開催



ビジネスマッチング



盲導犬育成支援募金活動



とちぎん文化セミナー



プロスポーツ支援



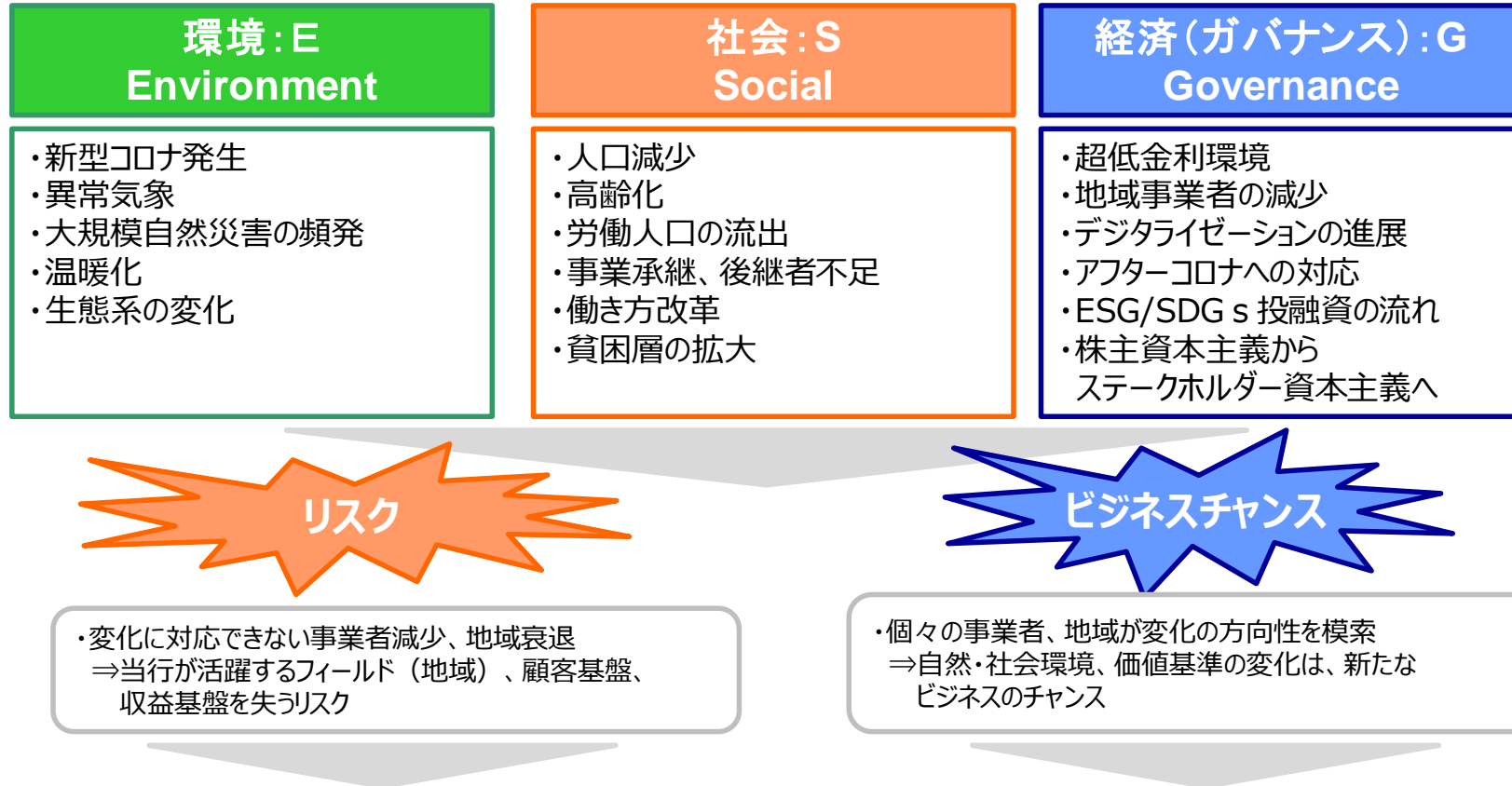
- こども110番
- 宇都宮まちづくり貢献企業の認証
- 犯罪被害者支援のための自販機設置
- 特殊詐欺被害の未然防止
- 自治体との包括連携協定等の締結
- とちぎんECOみらい
- とちぎ未来クラブとちぎ子育て家族応援事業への協賛
- 献血への協力
- インターンシップの受入れ
- 職場体験、企業見学
- 寄附講座・出前講座

- 「観光情報発信コーナー」の設置
- 「県政情報コーナー」の設置
- 認知症サポーター
- オール電化等エコ住宅のローン金利割引
- エコカー購入のローン金利割引
- 福祉車両購入のローン金利割引
- エコ店舗
- バリアフリーへの取り組み
- 「えるぼし認定」「くるみん認定」
- 「働くママの応援講座」「育児短時間勤務制度等」
- 「復職制度」

⇒ 「地域循環共生圏」「地域のサステナビリティ」  
を実現するために何が出来るか？

# 4.見えてきたもの-① (リスクとチャンス)

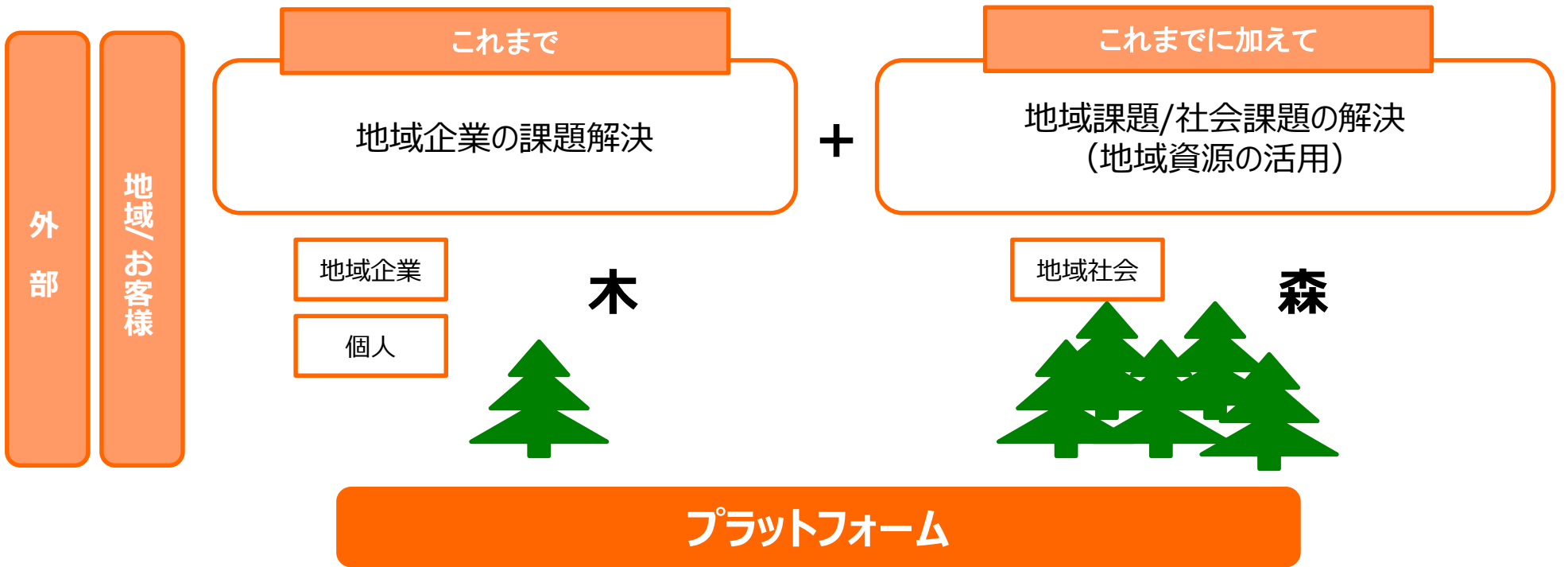
## 【外部環境の変化】



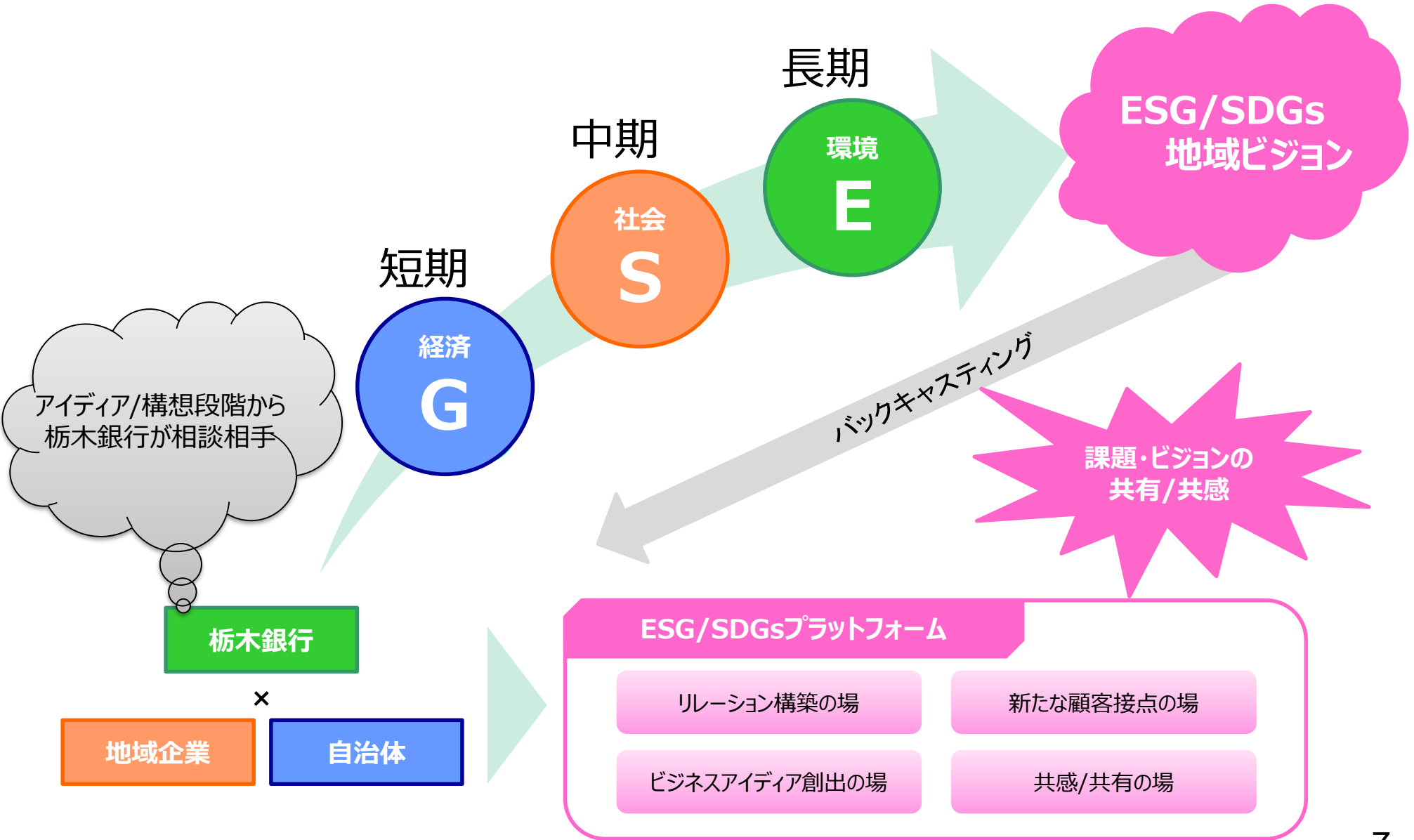
- ・地域企業(顧客)、地域社会が、外部環境の変化への対応をしなければならない。
- ・地域企業(顧客)に対する個々の支援と併せて地域社会(課題・資源)への対応が必要。

# 4.見えてきたもの-② (木と森)

		経済(ガバナンス):G Governance	社会:S Social	環境:E Environment
内部	行内	<ul style="list-style-type: none"><li>とちぎんファンの獲得</li><li>環境/社会も包括したブランド確立</li><li>AI/ICT活用による生産性向上</li><li>ESG事業性評価/与信判断</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>働き方改革</li><li>女性活躍推進</li><li>キャリアプランに応じた育成</li><li>障がい者雇用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>省エネ/省資源への取組み</li><li>ペーパーレス推進</li><li>太陽光発電の推進</li><li>電気自動車の導入</li></ul>



⇒ 分散した力を統合





## ESG/SDGsプラットフォーム

リレーション構築の場

新たな顧客接点の場

ビジネスアイデア創出の場

共感/共有の場



那須塩原WS



宇都宮WS

### ESG/SDGsプラットフォーム実現に向けた検討ステップ

#### ① 共通理解

- 統合的SDGs導入セミナー
- セミナー前、セミナー後アンケートの実施、とりまとめ

#### ② 観察・課題共有

- キーパーソン発掘に向けた個別ヒアリング
- コンセンサス型ワークショップの企画、運営

#### ③ 共通価値の創造

- ビジョン策定ワークショップの企画、運営

#### ④ 実証・事業化

- 事業化領域の検討
- 事業化スキームの検討

# 6.目指す新たな金融の姿-①

課題解決の対象先

地域のために提供/  
活用してきた経営資源

事業者との関係

これまでの金融

地域企業

個人



木

+

+

お金

セールス  
審査、評価

銀行

交渉相手

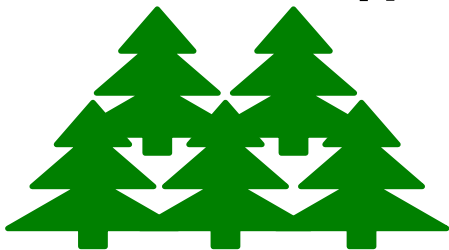
地域企業

ESG/SDGs  
地域ビジョン

+

追加される金融

地域社会



森

信用力

人材

ネットワーク

知恵

プラットフォーム

地域企業

銀行

自治体

正対する関係から横並びの関係へ

持続可能な  
地域社会

課題解決/資源活用  
ビジネス事業化

地域課題の共有  
地域資源の発掘

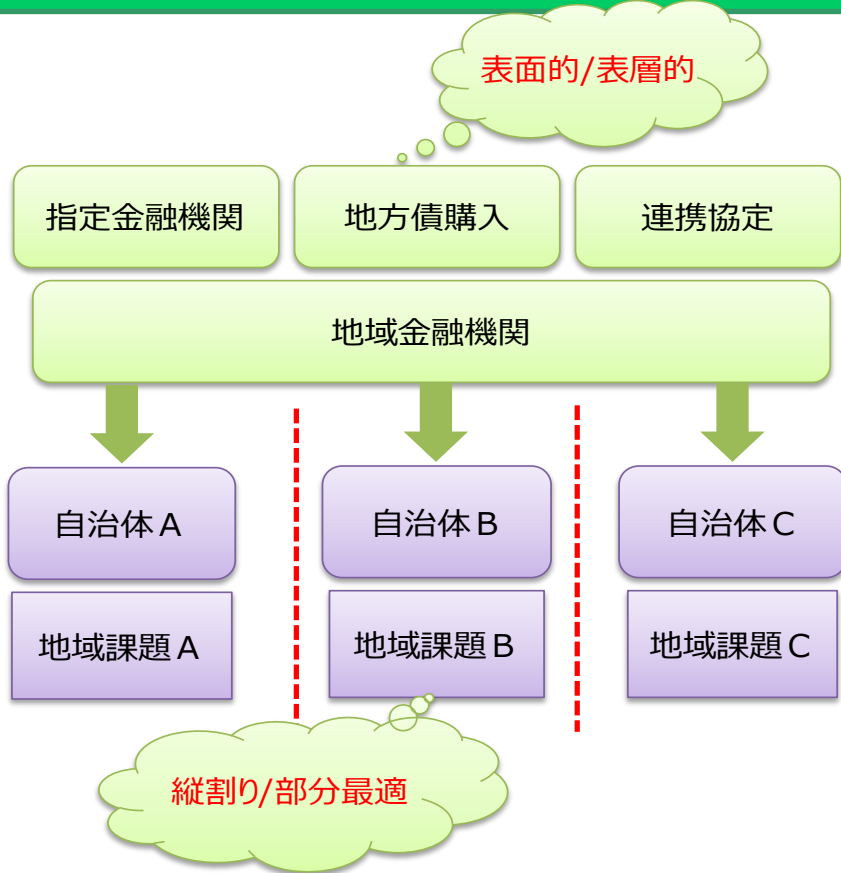
課題解決の検討  
資源活用の検討

交渉相手

⇒ ビジョンを共有する仲間/相談相手に

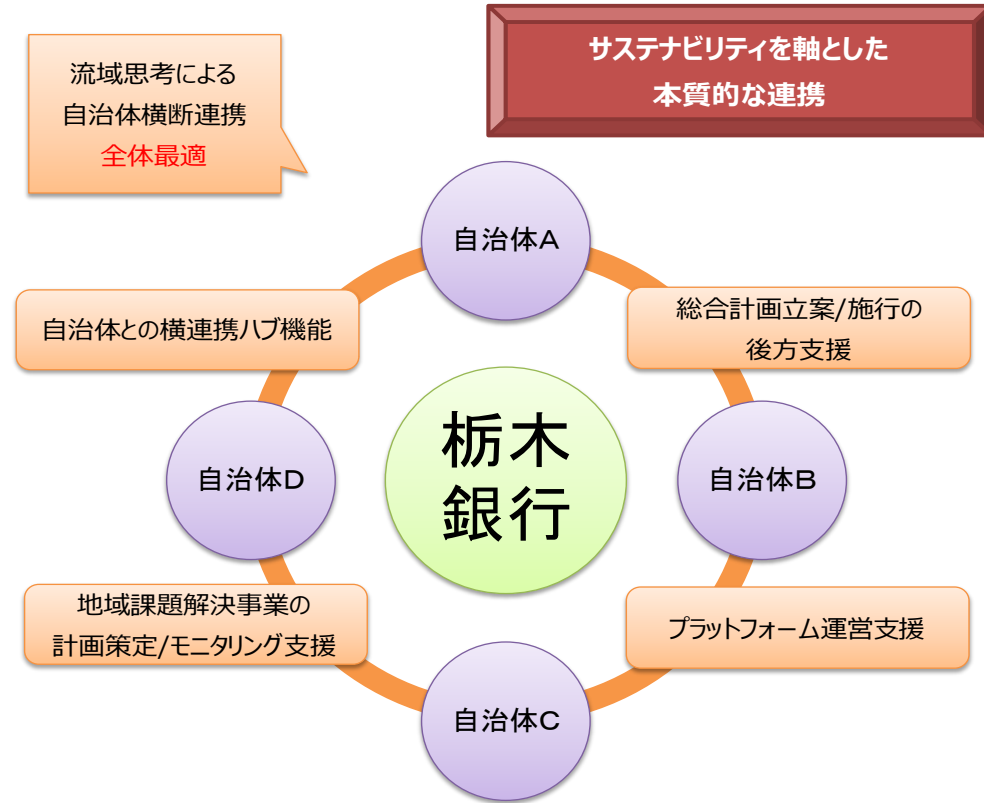
# 6.目指す新たな金融の姿-②

## これまでの金融



+

## 追加される金融



縦割り/部分最適

⇒

- ・自治体のカベを超えて
- ・地域間ヨコ連携のハブ
- ・全体最適へ

# 6.目指す新たな金融の姿-③

- 『森』である地域の課題解決に必要な6つの項目/要素について整理
- 全ての項目に◎がつくのは地域金融機関  
⇒ 『地域循環共生圏』実現のキープレーヤーと言われる所以

	資金	信用 (地域とのつながり)	守るべき地域 (市町村)へ介入	県レベル指針 (行政区を跨いだ)	長期的な 取組み	個社/個々 への関与
地域金融	◎	◎	◎	◎	◎	◎
国	◎	△	×	△	△	×
県	△	○	×	◎	△	×
市町	○	◎	◎	△	△	×
大学	△	○	○	○	△	○



- 環境や社会（ESG要素）に起因するリスクに地域や地域企業がさらされている。
- 地域課題/社会課題に寄り添い、共有し、共感し、1つ1つ地道に解決し、地域のサステナビリティを実現する。
- それを新たなビジネスとして形にしていける『共創力』『行動』こそが、今、必要とされている。

⇒ 「地域循環共生圏」実現の最適プレーヤー 地域金融機関の姿

# 【参考】プラットフォームからの具体的事例

## 《令和元年度 地域ESG促進事業》

### 【案件】地域資源利用の省エネルギーハウス農業

#### 【概要】

- 宇都宮市大谷地区の大谷石採掘跡に貯留されている未利用の「冷熱エネルギー」を活用した農業ハウス
- 高機能/高糖度のイチゴやトマトを周年で安定的に栽培

#### 《プラットフォーム》

- 地元事業者K社  
→ 地産地消の熱エネルギー利用社会の構築
- 宇都宮市  
→ 大谷採石場跡地周辺の地域資源を活用した観光振興
- 栃木銀行  
→ 県の重要産業（イチゴ）と大谷石採掘跡という地域資源/観光資源活用の組み合わせ。耕作放棄地問題解消にも資する。

想いの  
共有/共感



ハウス内部



- 熱源コストの低コスト化・安定化
- 地場の地域エネルギーの利用
- 従来より省エネ化
- 冷熱の温度コントロールによる生産性向上
- 運用コストの低減

### 構想・計画

- ・省エネルギーハウスの設計/監理の現場工程を大幅に効率化するソフトウェアの開発  
→ 省エネルギーハウスをモジュール化  
→ 設計をスピードアップさせ全国（他地域）に展開

- ・大谷地区のブランド価値をあげる取組みの中の1つ  
→ 大谷夏イチゴの産地化  
→ 大谷地区への省エネルギーハウス設置が増加  
→ 省エネルギーハウスに冷熱エネルギーを供給するインフラ設備の充実

当行支援  
(案)

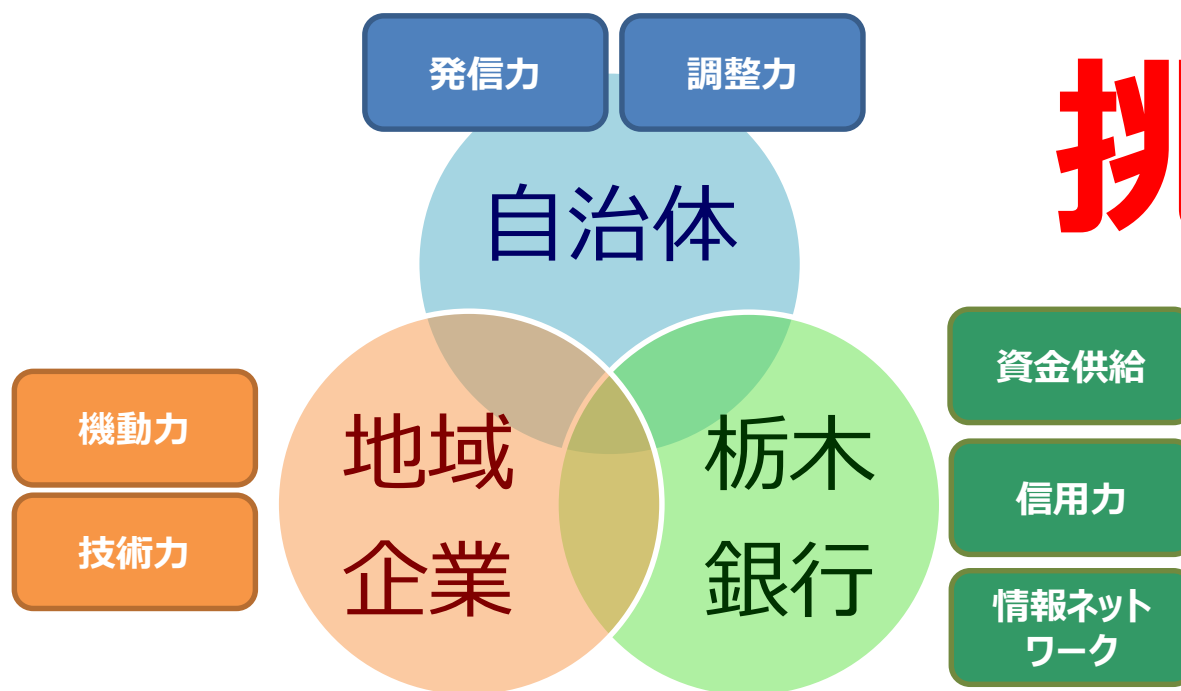
補助金の活用

営業代行  
(商社機能)

事業計画  
策定支援

インフラ投資  
への対応

- ESG地域金融の取組みは、これまでやったことのない新たな取組み。
- 地域のサステナビリティの実現に向け、試行錯誤しながら、悩み、迷いながら進めている。
- 自治体/地域企業の協力また、外部の知見/有識者の助言を頂きながら、それぞれが持つ強みを活かし、足りないものを補い合いながら1歩1歩前進していく。



挑戦は  
つづく...

ご静聴ありがとうございました。

*First for You*  
あなたとともに